

## 記紀・万葉プロジェクトを立ち上げます！



山の辺の道

### 1. 「記紀・万葉プロジェクト」とは

古事記完成から1300年目にあたる2012年の到来を2年後に控え、古事記・日本書紀・万葉集や地域に伝わる伝承(以下、「記紀・万葉及び伝承」)を活用した各種事業の展開を検討するプロジェクトを立ち上げます。

#### 【「記紀・万葉プロジェクト」計画策定までのプロセス】

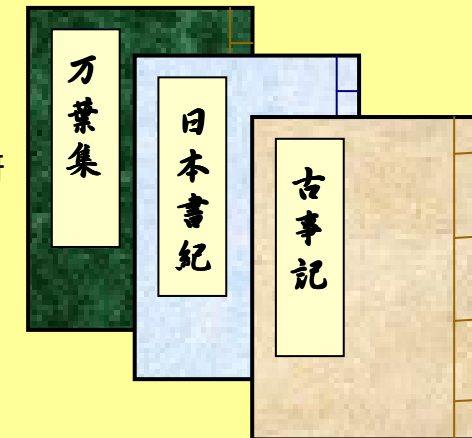
##### (1) 研究者への聞き取りなど情報のインプット

全国の一流・著名な記紀万葉にまつわる研究者(10～15名)に

- ・記紀・万葉及び伝承の魅力や、それらを素材に奈良の情報発信を図るにはどのような魅力出しの方法や項目があるか
- ・取り扱うことに留意を必要とする分野や取り上げ方、注意点等 について聞き取り調査を行い情報を収集します。

##### (2) 推進組織の立ち上げ

- このプロジェクトを推進するための組織として「記紀・万葉プロジェクト検討委員会」を設置。さらに同委員会の実務組織として「記紀・万葉プロジェクト推進チーム」を結成。
- 同チームは、文化観光局内の各所属担当者レベルの職員を中心に、万葉文化館や橿原考古学研究所の学術的知識を持つ職員もメンバーとして参画し、誘客促進等観光行政のノウハウと本県の研究部門の知識を結集し、(1)の調査結果も踏まえ、「記紀・万葉及び伝承」の誘客促進等への活用の仕方について調査分析、討議。
- 検討結果等を同検討委員会や観光戦略会議にて随時報告。



##### (3) アウトプットの方向性

- 関係できる県庁内の全所属が、単にウォークイベント、フォーラムといったイベント事業項目を考えるのではなく、各所属の業務の強みを活かし、「記紀・万葉及び伝承」をテーマに事業展開できるかどうかの可能性を検討し、多彩な素材を活用した本県のPRや事業展開について検討する契機としてもらう予定。
- 最終的には、古事記1300年のプレ年にあたる2011年、記念の年となる2012年に各所属での予算化、事業実施をめざします。

## 2. 事業展開の元となる素材について

○「古事記」「日本書紀」「万葉集」及び「地域に伝わる様々な伝承」を素材として調査検討を進めます。

○これらの文献や資料から、奈良の魅力を伝えるための素材を抽出します。

(素材例)

- ・お菓子、相撲、地名など、様々なもののルーツ
- ・神々や古代貴族が繰り広げる恋愛模様
- ・世界各国の神話との比較
- ・奈良で墨・紙の産業が培われたわけ ………

○「記紀・万葉及び伝承」に記された(口伝された)様々な素材について、「何を」「どのように」「だれに」伝えるのかを検討・整理します。



葛城山系の山並み

## 3. 事業の方向性について

我が国の古代国家の黎明とともに古事記・日本書紀が成立し、多くの万葉歌が詠われた奈良県。古事記完成の1300年の節目の年において、日本列島の様々な地域で人々が暮らした日本の原風景を思い起こすことにつながる各種事業を奈良県から発信します。

また、古事記と関係の深い島根県など他府県と連携した事業を進めます。

そして、この事業をきっかけに、「日本人の心」を探究してまいりたく、また、多くの方々に古事記の世界に親しんでいただければと考えています。



飛鳥浄御原宮

(天武天皇による記紀編纂事業の開始)



藤原京



平城京

(712年古事記完成)